

“みんなごと”のまちづくり推進事業 活動進化プログラム「公開講座」第三回(2017.10.20)  
「資金調達の実験から見てきた、共感するビジョンの必要性」振り返りまとめ

**Q. 本日の講座の気づきを思い出すと、講座を受ける前と後で、あなたにはどんな変化がありましたか？**

公開講座を終え、シートにご回答くださった参加者の「気づき」をざっくりと分類しました。

やりたいことが明確になった、話し伝えることの大切さ、人との関係性への気づきなど、様々な声がありました。

明確な一歩が見えた

やりたい事をスタートします！

具体的な一歩が見えた

誰かに言葉で伝えることで、**自分の認識を可視化**できた。

クラウドファンディング、そろそろ動かないとなあ…から今すぐやらなきゃ!に変わりました。

**ぼやとしていたイメージが明確**になった。

やりたいことが明確になりました。

ソーシャルキャピタルの喪失

クラウドファンディングは資金・ファン集め以外にもあると思わなかった。ソーシャルキャピタルの損失なども考えたことがなかった。学校では市民の意識を変えるとか市民からお金を集めるということは学ぶが、**実際どうやって支援、共感をするのか**の現場の声を聞いたことは大きな学びであった。

クラファンの間にはまらないようにやるという心がまえができました。

資金調達とプレゼンの姿勢

クラウドファンディングへの理解

実践者の話もふまえて聞けたので、とても勉強になりました。  
アイデアを出し合うというか**自分の持っている“糧”に関心を持ってくれそうな人達に対して気軽に話すこと**の大切さ。改めて気づきました。

クラウドファンディングという言葉と使う側の意識

クラウドファンディングのイメージ、やる際の注意点

いろんな人を巻き込む大切さ、難しさ。

クラウドファンディングにおける「人」の大切さ

クラウドファンディングの仕組みそのものを知りたいというレベルのものだったが、やはり**「人」という要素、大きさ**に気づかされた。

登壇者のあり方に感銘を受けた。自分を見直すきっかけになった。